

# 都市計画道路を考える 小金井市民の会

特別号 (第8号) 2016年12月10日  
発行 都市計画道路を考える  
小金井市民の会  
連絡先 電話 090-7847-3968 事務局:阿部

## 小池都知事への要請署名提出 都市計画道路3・4・1号線・3・4・11号線の見直し求め 第1次分 8,603人分の署名



12月8日、「都市計画道路を考える小金井市民の会」の代表7人が、都庁を訪れ、東京都政策企画局総務部 知事秘書担当の大野貴史課長に、都知事への要請署名8603人分を第一次分として提出しました。

提出にあたり、今中京平共同代表から、小池都知事が選挙中に「はげの自然と文化をまもる会」のアンケートに対して、「知事に就任させていただきましたら、とりわけ地元から強い疑義が提起されている路線を実際に巡視し、地域住民の皆様とも対話し、優先整備路線に位置付けることが不適切だと判断される路線に関しては、大胆に見直しを進めていきたいと考えております」と回答されていることを踏まえ、小池知事による、小金井の現地視察の早期実現を望む要請書を読みあげ手渡しました。

他の代表からは、「はげと野川の自然は長い年月をかけて市民の力で守られてきた小金井にとっても東京に貴重な財産」、「道路予定地や近隣住民にとっては生活破壊の可能性に対する心理的不安が大きい」、「34年間暮らして、子ども

もたちの環境にとって大事な地域だ」等、多くの市民の気持ちを代弁する声があがりました。また、全国の都市計画道路の状況を踏まえ「多くの自治体では50年以上前に決定された都市計画道路の見直しが進められているのに、東京だけが例外ともいえる。小池都知事がこれま

でのことにとらわれない判断をされると言われている今がチャンス。ぜひ新しい方向を小池知事が打ち出すことを望む」ことも伝えました。担当課長は忙しい知事ではあるが、8603人の署名とともに、できるだけ正確に小金井市民の思いを知事に届けたいと答えました。

行動には、今中京平共同代表、川島昭彦共同代表、金山乃婦子共同代表、川幡長勝世話人、蜂谷博世話人、長谷川茂雄世話人と事務局の阿部達の7人が参加しました。朝日新聞の記者が取材のため、同席しました。



要請署名を提出後、説明する市民代表(右)と大野課長(左)

### 道路市民の会の全体会のお知らせ

日時 2017年1月22日(日)午後2時  
会場 萌え木ホール A会議室

都知事への要請署名は、  
第2次分として、引き続き集めます。

# 署名提出後に 都庁記者クラブで記者会見

要請署名8603人分を提出後、都庁記者クラブの記者会見室にて記者会見を行いました。

会見室はテレビで小池知事が記者会見している会場と同じ部屋。正面に市民の会の代表が着席し、会見を行いました。

会見の2日前に会見に臨む概要を書面で記者クラブ各社に配布し、会見にあたっては、選挙中の小池候補(当時)のアンケートへの回答全文と市民の会が発行したこれまで「会報」第1号から第7号までお配りしました。

はじめに、事務局の阿部達から、小池知事の地元の声を大事にしたいとの思いを受けて、小金井市民の声を署名として先ほど届けたこと、小金井市長、小金井市議会も小金井の貴重な自然である「はげ」と野川の破壊につながる道路計画については、希望しないと述べていることなどを紹介しました。

記者からの「今の時期要請署名を提出された理由は？」との質問には、「署名活動は6月からスタートしたが、8月には小池知事が誕生、選挙中から小金井の2路線の見直しについて前向きな発言をされており、一刻も早く届ける必要があると考えた」と答えました。

## 都道見直し求め 署名8603人分提出

小金井の市民団体

自然が残る場所として知られる「ハゲ」(国分寺崖線)を横切る都市計画道路(都道)の整備を巡り、小金井市の市民団体が8日、小池知事あてに事業化見直しを求める8603人分の

署名を提出した。

「都市計画道路を考える小金井市民の会」の阿部達事務局長らは「知事に現場を見に来てほしい」「手つかずの自然でムササビもすむ。大都市に残された財産だ」と要望。都職員は「知事に伝える」と応じた。

計画道路は都が昨年、今年度から10年間の優先整備路線に選んだ。同会は7月

の知事選で候補者にアンケートを実施。小池氏は「地元から強い疑義が提起されている路線を実際に巡視し、住民とも対話し、優先整備路線に位置づけることが適切と判断される路線は大胆に見直しを進めたい」と回答していた。市議

会は計画見直しを求める意見書を3月に可決している。



記者会見に臨む市民の会代表

また、「はげと野川の自然の再生に東京都もかかわってきていると思うが具体的には」との質問には、「野川再生事業に取り組み東京都の同じ部署が、道路では環境を破壊しようとしており、東京都の姿勢は明らかに矛盾している」点を強く指摘しました。

「旧法での都市計画道路の決定過程に瑕疵があるのでは」という質問には、「我々も実際に国立公文書館で決定書類を調査しそのことは十分承知している。これから必要に応じて問題にしていく」と答えました。

会見に出席したメディアは、幹事社のNHKと東京新聞、産経新聞、時事通信社、しんぶん赤旗です。全員、はじめての記者会見、緊張しながらの会見でしたが、無事終えることができました。

お知らせ:「朝日新聞」の記事のなかで、都知事選でのアンケートを実施したのが、市民の会であると、記載されていますが、実施したのは、「はげの自然と文化をまもる会」です。取材過程で食い違いが生じたもので、事務局から朝日新聞に申し入れました。

## 都道整備見直し求める 署名8603人分の署名簿

小金井

市民グループ

小金井市の市民グループ「都市計画道路を考える小金井市民の会」は8日、同じ、小池百合子知事にできるだけ早く視察に来ようとする都市計画道路(都道)の要請した。

整備が計画されているのは、「小金井3・4・1号線」(約二千六十辺)と「小金井3・4・11号線」(約八百二十辺)。都が三月にまとめた都市計画道路の整備方針で、今後十年間の優先整備路線に選ばれている。

同会は、「はげ」と呼ばれ、貴重な自然が残る「国分寺崖線」を分断する計画だと指摘。優先整備路線の対象から外すよう求め、今年六月から署名を集めてきた。今後も署名活動は続ける。

### 署名提出報告と署名行動

- 12月16日(金)午後3時30分武蔵小金井駅
  - 12月19日(月)午前11時コープみらいぬくい坂下店(貫井南町2丁目)
  - 12月21日(水)午後3時30分東小金井駅
- それぞれ1時間行います

上: 朝日新聞武蔵野版 12月9日  
下: 東京新聞武蔵野版 12月9日